

学科	授業 ナンバー	担当教員	授業タイトル	授業内容	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
アントレ プレナーシップ 学科 ※ ※2021年4月 開設予定 (構想中)のため 変更する場合も あります。	1	伊藤 羊一	「やりたいことなんて、なくていい」 -自分がやりたいこと、目指す方向を知る-	主体的に人生を捉え、好奇心をもって生きていくには、自分自身を知り、自分の興味関心がどこにあるか知ることが必要です。自分の人生をグラフで表現し、グループで対話をしながら、自身の興味関心を探っていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	2	伊藤 羊一	「1分で話せ」 -大事なことだけシンプルに伝える技術-	人を動かすためには、考えて、伝える技術が大事です。明日から使える「極意」を、演習を交えながら身につけていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	3	荒木 博行、伊藤 羊一、津吹 達也、寺田 知太 (いずれかが担当)	「世界一簡単な論理思考」 -主張と根拠のピラミッドを作ってみよう-	新しいビジネスアイデアを構想する前に、状況を分析したり、自分の考えを整理する論理思考が大事です。ここでは論理思考でベースとなる、「主張と根拠のピラミッド」を世界一やさしく身につける術を練習します。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	4	伊藤 羊一、海野 慧、篠田 真貴子 (いずれかが担当)	「ちゃんと聞く」技術	チームでことを成すためには、メンバーを盛り上げることが大事です。そのためには、コミュニケーションをとること！「ちゃんと話を聞く」のはスキルです。これができれば人間関係は怖くないです！	講義+演習	プロジェクター、スクリーン
	5	五嶋 一人	会社が儲かる仕組みを考える	内外のスタートアップを中心に新しいビジネスモデルを2~3つ紹介、その後グループワークで新規事業を考えてもらい発表、講師が講評します。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、グループ数分のホワイトボード or 大きな紙、ペン
	6	伊藤 羊一	「全てのものがインターネットにつながったら何が起きる？」-インターネットや社会や生活の未来を考える-	全てのモノはインターネットにつながっていきます。そうなる何が起きるのか、私たちの暮らしはどうなるのか。発想を跳ばせて、みんなでこれから来る未来を考えてみます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	7	平石 郁生	海外ビジネス最前線 グローバルアントレプレナーを知ろう！	失われた30年、日本社会と経済が停滞に陥るなか、なぜシリコンバレーに代表される海外からは途絶えることなくイノベーションが生まれるのか？日本がグローバル化していく必要と解決策を探ります。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	8	井上 浄	世界を変える研究者の挑戦 ~好奇心に従え！~	価値の中心が「もの」から「知や情報」に移行する現代では、自身の「好奇的思考」により異分野間の「新結合」を生み、社会に新たな価値を創ることが求められます。主に研究の魅力と「新結合」について考えます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン ※ワーク希望の場合はA4用紙、筆記用具
	9	海野 慧	ソーシャルビジネス最前線 社会課題の解決とビジネスをどう両立させるのか？	SDGsという言葉と共に耳にする機会が増えたソーシャルビジネス。どんなビジネスがあるのか、社会課題の解決とビジネスは両立できるのか？今後我々はどう社会と向き合うのか？これらの問いに目を向けていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	10	五嶋 一人	スタートアップという「進路」	内外の有力起業家やスタートアップの紹介により、「起業」という生き方を知り、関心を持っていただきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	11	五嶋 一人	株式から学ぶ資本市場	中高生にも馴染みがある上場企業の現状を2社~3社紹介し、資本市場への興味を持っていただきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	12	寺田 知太	実現したい未来シナリオの創り方	5年後、10年後にどんな世界になるかを自ら描いて、自分たちが実現したい未来シナリオを選び取る方法論を体験してもらいます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、筆記用具、ポストイット
データ サイエンス 学科	13	上林 憲行	21世紀で最もセクシーな職業、それはデータサイエンティスト	近年、データサイエンティストという職業が注目されています。データサイエンティストは一体どんな職業なのか。本授業ではデータを活用した結果から現場に貢献するデータサイエンティストについて紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	14	中西 崇文	人工知能と暮らすちょっと近い未来を考える	本授業では、現在の人工知能が具体的に使われている事例を説明し、人工知能技術が将来どのような問題があるか、将来人工知能と幸せに暮らすためにはどうしたらいいかを一緒にワークショップ形式で議論していきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	15	岡田 龍太郎	ビッグデータ×AI×音楽：コンピュータがあなたの言葉に合わせて作曲します。	近年、音楽等の創造性が要求されるような分野でも、人工知能を活用する研究が進んでいます。本授業では、データサイエンス、人工知能による創造性と可能性を自動作曲の体験を通じて述べていきます。	講義	プロジェクター、スクリーン、PCに接続できるスピーカー
	16	中西 崇文	画像でデータサイエンス	データサイエンスは単なる数値となったデータの分析だけでなく、画像、映像、音声などのメディアコンテンツの分析が主眼となってきています。本授業では、基本的な数学を簡単なプログラムに落とすことにより、基本的な画像処理を実際の演習により体験していきます。(本授業で指す基本的な数学とは、複素数(数学II)のことであり、実際は、数学IIIの複素数平面の内容を含みますが、それを学んでいなかったとしても理解できる内容となっております。)	演習	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境 ※できれば生徒1台ずつブラウザが動作、インターネット接続可能なPC持参が望ましい
	17	中西 崇文	音でデータサイエンス	データサイエンスは単なる数値となったデータの分析だけでなく、画像、映像、音声などのメディアコンテンツの分析が主眼となってきています。本授業では、音をデータサイエンス的に分析するとはどういうことなのかを述べた上で、音をどのようにプログラミングにより生成することができるのか、そしてその音をどのようにデータとして扱い分析するのかを演習を交えながら解説していきます。また、グループワークにより、その音の組み合わせによる簡単な音楽を奏でていきます。(本授業では数学IIの三角関数の内容を含みます。三角関数のイントロダクションとして最適です。)	演習	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境 できれば生徒1台ずつブラウザが動作、インターネット接続可能なPC持参が望ましい
	18	佐々木 史織	ヒトの歴史とAI(人工知能)	本授業では、AI技術を「対象(モノ・コト・ヒト)の特徴・パターンを抽出する技術」と位置づけ、「AI×ビッグデータ×〇〇」という具体的身近な例と、SDGsなどへの社会応用を複数紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	19	佐々木 史織	ビッグデータ〇〇世界地図づくり体験	今は誰でもGPS情報つきの写真や動画を投稿できる中で、時間と空間とAIで繋ぎ合わせると何が起るのか。本授業では、そんな〇〇世界地図システムの構築実験を体験し、SDGsなどの社会への役立て方について、議論します。	演習	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境

学科	授業 ナンバー	担当教員	授業タイトル	授業内容	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
データ サイエンス 学科	20	林 康弘	ディープ・クリエイティビティ・トレーニング	アイデアを形にする作品制作のペアワークを通じて、常識や思い込みから抜け出し、一人一人の創造性を高めるトレーニングを行います。	演習	プロジェクター、スクリーン、PC、カメラ、スピーカー 【生徒】ペン、紙、ハサミ、ノリ、ホチキス、その他日用品
	21	林 康弘	フューチャー・ラーニング・エクスペリエンス	eラーニング、ビデオ会議システム、3Dプリンタ、プロジェクトマッピングをはじめ、教育向けIoT機器等を体験します。それらを有機的に活用した未来の学びをデザインするグループワークを行います。	演習	プロジェクター、スクリーン、PC、Webカメラ、スピーカー
	22	林 康弘	クリエイティブ・スキル・トレーニング	Scratchを使ったプログラミングを通じて、アイデアを具体化する方法を学びます。Webカメラをセンサーとして使う方法や、音楽や映像を取り扱う方法、など例を示しながら、作品制作を行います。	演習	プロジェクター、スクリーン、PC、Webカメラ、スピーカー
	23	中村 亮太	ユーザインターフェース ～人と機械を自然に結ぶしくみをデザインする～	画像・音声認識などの技術の向上により、ユーザに満足してもらえるアプリをデザインするための手法の紹介から、より直感的で自然な操作を可能にするNUI(ナチュラルユーザーインターフェース)について実演・解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	24	中村 亮太	micro:bitを用いたプログラミング的思考の体験	プログラミングの基本である順次制御や条件分岐、繰り返しなどについて、micro:bitを用いてLEDを光らせたり、スピーカー音を出して遊びながら学び、プログラミング的思考を強化します。	演習	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境、USBが使用可能なPC
	25	長谷川 理	Swift Playgroundsではじめるプログラミングの基礎体験 ～初級～(Everyone Can Code)	プログラミングの基本である順次制御や条件分岐、繰り返しなど、インタラクティブなコーディング環境を利用しながら学び、世界を変えることのできる何かを作るチャンスが誰にでもあるということを感じます。	演習	プロジェクター、スクリーン、生徒は各自iPadが必要
	26	福原 義久	イノベーションの源泉～思考プロセスと協働の力	世界を変えた革新的な製品やサービスを例題に、イノベーションの捉え方や、実現プロセスについて説明します。また、思考プロセスと協働を活用することで、誰でもがイノベーションを実現できることを解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境
	27	Thatsanee Charoenporn	Change Maker on the SDGs Implementation	The Sustainable Development Goals (SDGs), adopted at the United Nations Sustainable Development Summit are the blueprint to globally achieve a better and more sustainable future in order to leave no one behind. Various agencies around the world are trying to link their activities in accordance with SDGs, while "Science, Technology and Innovation" (STI) are mentioned as key mechanism for the sustainable development. In this class, we will intently understand SDGs by self-learning through a game. Case studies from various countries will be introduced as being lessons in developing/integrating new solution with STI. We will be "Change Makers" to create a better society.	講義	- Projector and Internet - Tables and chairs can be moved to set group game
	28	圓崎 祐貴	HMDだけじゃない！VRの研究分野について	VRとしてHMDが目まがみされています。しかしVRの研究というのはそれだけではありません。バーチャルな物に触ったときの感覚などいろいろな体験をする装置が研究されています。それらについて紹介していきます。	講義	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境
29	石橋 直樹	インターネットのサービスはどう作られるのか？	皆さんが日常的に使っているWebサービスはどう作られているのか？基本的な技術要件に加えて、クラウドコンピューティングなど近年の傾向や、新しいサービスを考える視点について講義します。	講義	プロジェクター、スクリーン	
グローバル コミュニケーション 学科	30	Albert R. Zhou	言語の接触と異文化交流を考える	日本語、英語及び中国語から外来語などの言語の接触の例を取り上げ、言語がいかに文化交流と共に影響し合い、新たな表現が生まれるのか、また、これは外国語学習及び異文化理解に何を示唆しているのかを考える。	講義	プロジェクター、スクリーン
日本語 コミュニケーション 学科	31	神吉 宇一	日本語のコミュニケーションについて考える	この授業は、適切なコミュニケーションについて学ぶことを目的とします。まず、簡単に理論的な事柄を学んだ上で、グループワークを通じて、生徒さんたち自身が日常生活での自分たちの言語使用を分析的に考えます。	演習	こちらで準備する配布資料を印刷したもの(A4で1～2枚+A3で1枚程度)、付箋紙(75mm×25mm)を4～5人のグループにつき1セット(色指定なし)、受講人数が30名を超える場合はプロジェクターとスクリーン
	32	藤浦 五月	母語話者なら簡単に教えられる？ —日本語教師という仕事	「日本語を教える」と言われて初めてことばを教える難しさに直面する人は多い。この授業では、日本語を教える難しさ・やりがいについて例を交えて説明する。また、日本語母語話者・非母語話者が共に日本語教師を目指して学べる科目を持つ本学での取り組みについても紹介する。	講義(演習はクラスサイズによる)	プロジェクター、スクリーン、配布資料印刷
法律学科	33	荒木 泰貴	自動車の運転と刑事罰	なぜ刑罰を科すのかについて、自動車の運転という身近で、かつ、厳罰化が進行する領域を素材に検討します。	講義+質疑 応答	なし
	34	金 安妮	超高齢社会と民法 —JR東海事件を題材として	法律学とはどのような学問なのか、民法とはどのような法律なのか、ということの説明した上で、「認知症老人による不法行為に関する近親者の損害賠償責任」について、一定の判断を示したJR東海事件の最高裁判決を題材として、超高齢社会における民法のあり方を考える。	講義	なし
	35	鈴木 清貴	法学案内	通常の大学の講義と同じ内容・レベルで、民法の講義を実施します。興味深い事例を素材として民法の条文の解釈を行います。受講者と一緒に考える作業をして、充実した時間を共有したいと考えています。	講義	なし
	36	金尾 悠香	身近なルールを考える	さまざまな法の存在形式と体系を学んだうえで、身近なルールを題材に、法解釈や問題解決の方法を、参加者と一緒に考えます。	講義+質疑 応答	なし
	37	金尾 悠香	「働く」を会社法から考える	会社法の役割・仕組みを学んだうえで、取締役・その法的責任を題材に、「働く」ということについて、参加者と一緒に考えます。	講義+質疑 応答	なし

学科	授業 ナンバー	担当教員	授業タイトル	授業内容	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
政治学科	38A	高橋 正樹	Gゼロ時代の国際政治	Gゼロとは世界をリードするような超大国がないことを意味します。世界の国際経済や安全保障の安定のために絶大な力をもっていたアメリカが、世界をリードするパワーと意思を失いました。講義では、アメリカが内向きになった国際政治の特徴を考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン、世界地図
	38B	後藤 新	「歴史」を学ぶということ	みなさんは「歴史」を暗記科目と思いませんか？たしかに人名や出来事を覚えるのは大切ですが、実は違うのです。この授業では「琉球処分」を事例に大学における「歴史」の学び方について考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
経営学科	39	高橋 大樹	経営学のメガネで世界を見てみよう！	高校生にとって身近な事例から、経営学とは何かという問いを探っていきます。経営組織論と経営戦略論という経営学の2つの主要な領域に関して具体例を使って説明した後、経営学を学ぶことの意義についても議論します。	講義	プロジェクター、スクリーン、スピーカー
会計 ガバナンス 学科	40	榮田 悟志	あといくら売上げれば利益が出るのかを会計から考える	商売を行っている以上は、利益を出すことが目標となります。会計上の数値である費用と原価を変動費と固定費に分解することで、あといくら売上を伸ばすことで利益がでるのかがわかるので、経営判断に役立ちます。	講義	PC画面を写して講義ができる教室
	41	船越 洋之	CASIOの電卓を使って「電卓の効果的な操作法」を考える	身近な存在である電卓ですが、その使い方に関しては意外と知られていません。実はとても便利で賢い操作方法がたくさんあります。簡単な例を用いて、その一端を紹介したいと思います。	演習	可能ならGTキーのあるCASIO製の電卓を用意してください。
	42	鷹野 宏行	NPOって、何を財源に運営しているの？	NPOという用語の普及、数の増加が進むものの、その非営利活動という概念の正確な理解が進んでいないのが現状であります。この授業は、わかりやすくNPOの運営の基本原則を説明します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	43	青柳 達朗	経済活動と租税法	人が生活していくことは、経済活動を行っていることです。一般市民の生産、消費という経済活動の中で納税義務がどのように発生し、それがどのように納付され消滅するかについて、説明し、租税が人間が生活していく上で避けて通れないことを学びます。	講義	なし
	44	鶴川 正樹	財務諸表の見方、分析の入門	財務情報（主に財務諸表）には、それを作成する立場（企業等）と利用する立場（投資家、銀行等）がありますが、ここでは、財務諸表の見方、分析の方法の基礎を学びます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	45	星野 雄介	会計学を学ぶと何ができるようになるの？	多くの会計学教育は知識を学び、簿記と企業分析のスキルを高めることを中心としています。しかし同時に、会計学は学問でもあります。そして近年の実証研究では、扱う対象が非常に自由になってきました。この講義では、会計の知識が分析と研究にどのように使われているかを、実務と研究の両面から見ていきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	46	佐藤 正隆	企業のボトルネック解消方法について考える	企業はボトルネックをどのような意思決定のもとで、解消しているのかを事例を用いて、検討する。また、中核の概念である継続改善プロセスを利用し、身の回りのボトルネック及び解消方法について一緒に議論する。	講義	プロジェクター、スクリーン
教育学科	47	安達 光樹	生涯スポーツって何だろう	スポーツは一部のアスリートだけのものではなく、人生を豊かにする一つの選択肢として、全ての人がその面白さを楽しむ権利を有しています。生涯にわたってスポーツに関わるとはどういうことか解説をします。	講義＋演習	プロジェクター、スクリーン
	48	伊藤 摂子	小学校で英語をおしえるの？	小学校外国語教育では多くの場合、英語の専門指導員ではない小学校教員が指導をしています。どのように小学校では指導しているのか、演習と講義を通して、児童の学び方、指導の仕方についてを体験・解説します。	講義＋演習	プロジェクター、スクリーン
	49	上岡 学	部活動とクラブ活動	部活動の目的は何だろう？クラブ活動と何が違うのか。学校教育において現在部活動の指導をめぐる学校内外から問題提起がなされている。そのことをカリキュラムを含め様々な視点からとらえていきたい。	講義＋演習	プロジェクター、スクリーン
	50	大杉 健	ARTの世界に冒険に出よう	一枚の絵をみんなで見て、自分の考えを話し、友達の意見を聞く。対話による鑑賞を通して自分なりの価値を創造する体験を行う。鑑賞活動から美術における「主体的、対話的、深い学び」について考える。	演習＋講義	プロジェクター、スクリーン
	51	小野 健太郎	「算数」の中に見える「数学的な考え方」	いわゆる「数学的な見方・考え方」を体感することを目的とした演習を行います。算数科で使用される教材を利用して、「答え」を求めることではなく「考え方」を検討することに重点を置いた体験を予定しています。	演習＋講義	プロジェクター、スクリーン
	52	小菅 和也	英語のリズムに慣れよう	日本語と英語の音声の違いは何でしょうか。個々の音の違いもありますが、実はとても大事なものが、リズムの違いです。英語を、日本語のリズムで話しても英語らしく聞こえません。英語のリズムを身につけましょう。	講義＋演習	なし
	53	櫻井 千佳子	きっと英語が好きになる学習法	英語を学習するのは、入試のため？ 資格のため？ 英語学習を、自分とは異なる言語文化への扉を開けることだと捉えて、学習法を見直してみよう。この授業の後、きっと英語が何倍も好きになります。	演習＋講義	プロジェクター、スクリーン
	54	佐藤 克士	小学校社会科の授業づくり	小学校社会科の授業づくりについて演習を通して理解します。具体的には、小学校社会科教科書の特質（諸外国との教科書内容構成の違いを含む）、教科書をもとにした授業づくりについて体験します。	講義＋演習	プロジェクター、スクリーン
	55	高橋 典嗣	母なる太陽の科学	太陽は46億年前に誕生し、恵みを受た地球には生命が誕生しました。生命の源でもある母なる「太陽」の観測はガリレオから今日まで続いています。太陽表面の現象、コロナなど最新の太陽科学の知見を展望します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	56	野中 繁	「理数探究基礎」の出前授業	新学習指導要領で導入された「理数探究」は、生徒が自ら課題研究に取り組むことを中心に置いた新科目である。高校生を対象に普通教室でもできる簡単なミニ課題研究により「理数探究」の授業を体験する。	演習	なし
57	初谷 和行	「読む力」とは何だろう？	大学入試が変わろうとする今、「読む力」とは何かについて考えたいと思います。読解力を測るいくつかのテスト問題を解いた上で、「読む力」について生徒自身に考えて貰います。その上で解説（講義）を行う予定です。	演習＋講義	なし	

学科	授業 ナンバー	担当教員	授業タイトル	授業内容	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
教育学科	58	樋口 昇	これからの理科学習を考えよう	これまでの小学校理科学習の課題を振り返り、これからの望ましい理科学習を考えます。実際に自然の事物・現象に触れるミニ実験を体験したり、師範授業のDVD視聴を通して、理科の問題解決の過程を体験します。	講義＋演習	プロジェクター、スクリーン、DVDプレイヤー
	59	廣瀬 裕之	漢字と書の世界へようこそ	象形文字の世界から今日の漢字の姿ができるまでを書道学と文字学からたどり、整った文字と芸術的な文字の違いと味わい方を探ります。また、なぜこのような筆順になったのかのお話や上手に書くコツについて語ります。	講義＋演習	なし
	60	山崎 淳	「言葉遊び」の世界を体験しよう	しりとりなどの言葉遊びは誰もが経験したことのある我が国の伝統的な言語文化です。新しい学習指導要領により、小学校国語科に導入されることになった言葉遊びを実際に体験し、その面白さを味わうことができます。	講義＋演習	なし
	61	堀米 孝尚	木刀で行う剣道指導	我が国固有の文化である『武道』、とりわけ剣道の指導をおこなうにあたり、ただの打ち合いではなく刃筋の通った本来の武道の精神に基づいた剣道指導を行う。	講義＋演習	木刀
	62	渡辺 英雄	異文化理解と英語学習	英語を使ってコミュニケーションを取る時、文化の異なる人々とコミュニケーションを取ることになります。日本国外で英語を教えた経験を活かして講師が異文化理解と英語学習について教えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
幼児教育学科	63	今福 理博	子どもの心の発達から考える幼児教育・保育	子どもの心はどのように発達するのでしょうか。また、心の発達にはどのような環境が必要でしょうか。授業では、発達心理学の観点から、皆さんと一緒にこれからの保育、幼児教育について考えたいと思います。	講義	プロジェクター、スクリーン
	64	榎田 二三子	子どもの気持ちを知る	私たちは言葉でコミュニケーションをとっていますが、子どもはどのようにして自分の気持ちを表現し、他者の気持ちを理解しているのでしょうか。子どもたちの育ちとその世界を知りましょう。	講義	プロジェクター、スクリーン
	65	小川 房子	昭和と令和 子どもを取り巻く環境の変化について考える	高校生が知らない昭和の時代の画像資料を紹介しながら、自分たちの幼少期(平成)を振り返り、さらには令和の子どもを取り巻く環境と比較考察し、幼児教育・保育の現代的課題と期待について一緒に考える。 ※保育内容(人間関係)に関連して	講義	プロジェクター、スクリーン
	66	小川 房子	幼児の視野を体験してみよう	5歳児の視野を体験できるメガネをつくり、高さ1Mから見える世界を疑似体験する。その後、レゾ・エミリアのプロジェクトのひとつ「群衆」を捉える5歳児の声をを紹介し、幼児の見える世界について一緒に考えるとともに、幼児教育のおもしろさに触れる。	演習	プロジェクター、スクリーン 【生徒】糊、はさみ
	67	川上 暁子	身体を動かして表現活動をする体験 —将来は 保育者として 子どもたちと一緒に—	学科の授業、身体表現の指導法における入り口の部分の内容を講義と実践を交えて行います。身体の形(かたち)に着目する遊びをいくつか行って、保育者として子どもたちの表現活動を支援・指導することについて考えます。	演習	プロジェクター、スクリーン
	68	生井 亮司	子どもの描画活動と発達について	子どもの描画活動の魅力と意義について発達との関係から考えるとともに、アート活動の中にある探求や知性の特徴を現代哲学や東洋思想との関係から考察します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	69	野島 正剛	子どもや保護者の相談を受けるために	保育者は子どもや保護者から悩みを打ち明けられる事があります。こうした相談を受けるためには、相手を支えるための関係をつくる必要があります。この関係性をつくる方法を一緒に学んでいきましょう。	講義	プロジェクター、スクリーン
	70	箕輪 潤子	子どもの遊びと発達について	子どもが遊ぶことについて、遊びとは何かという問いと共に、保育の環境や発達の側面から考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	71	義永 睦子	みんなちがってみんないい、という保育	どの子どもも、一緒に楽しく過ごせる保育の場は、どのようにして実現していくのでしょうか。保育者の子どもの個性の捉え方と保育の内容や展開の工夫について、皆で考えてみましょう。	演習	プロジェクター、スクリーン
	日本文学 文化学科	72	岩城 賢太郎	喪われた幼帝と宝剣 —『平家物語』研究への誘い—	わずか八歳で壇ノ浦の海底に沈んだ安徳天皇の生涯とその意味とを、『平家物語』本文と異本の1つ『源平盛衰記』の本文とを比較して読みます。そして、能や歌舞伎の舞台映像や合戦図屏風の鑑賞等を交えながら考えてみたいと思います。	講義
73		川西 宏之	「優美な死骸」はなにを飲む？ 創作のヒントと発想	人数が多い場合は、グループにわける。1グループは最低4名。名詞、形容詞(形容動詞)、動詞、副詞、それぞれの担当者を決め、思いつく限りのことば(名詞担当は名詞だけ、形容詞担当は形容詞だけ、以下同)をカードに書いていく(一枚に一語)。書き終わったら、カードをシャッフルし、形容詞(形容動詞)＋名詞＋副詞＋動詞の並びに一枚ずつ置いていく。この時、作為はせず、偶然にゆだねる。できあがった文章を読み、その奇妙さを味わい、かつ、もつとも面白いと思うものを一文選ぶ。グループにわけた場合は、それぞれの一文を発表し共有する。選んだ一文からどんな光景やストーリーを思いついたか、を話し合う。(実際にストーリーを書いてみる)	演習	プロジェクター、スクリーン
74		茂野 智大	「令和」と『萬葉集』	新元号「令和」を出発点として、その出典とされた『萬葉集』の「梅花の歌三十二首(并せて序)」や、その背景にある当時の人々の教養についてお話します。関連して、当時の人々の梅と桜に対するイメージの違いなども紹介し、現代との差異や共通点についても考えてみます。	講義	プロジェクターとスクリーンがあるのが望ましいが、なければ紙の資料で対応可。
75		藤本 恵	変化する昔話 —巖谷小波「小雪姫」を読む—	まず、明治時代に、日本の子ども読者に提供された昔話を紹介します。名前のおり、昔から変わらないお話と考えられがちな「昔話」は、社会や文化のありようを反映して変化してきました。その事実をとおして、児童文学と社会の関係を考えていきます。	講義	なし
76		藤原 克己	『源氏物語』の紫の上	光源氏が、その生涯最愛の伴侶となる紫の上を北山でかいま見る場面は、高等学校の教科書にもよく取られて有名ですが、彼女の少女時代は、けっして早くから大人らしく成長した少女としてではなく、子供らしい子供として生き生きと描かれています。そのことの意味を考えてみたいと思います。	講義	なし

学科	授業 ナンバー	担当教員	授業タイトル	授業内容	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
日本文学 文化学科	77	三浦 一朗	芭蕉「古池や」句を読み直す — 作品 を読むということ—	有名な「古池や蛙飛び込む水の音」の句を取り上げます。当時和歌や俳諧を作った人が「蛙」から思い浮かべたはずのことを押さえると、この句の魅力は、よく言う「わびさび」だけでは半分も説明できないと気づくでしょう。その気づきを体験してもらうことを狙いとします。	講義	なし
	78	楊 昆鵬	名詩をもう一度	高校時代の教科書に載る漢詩を取り上げ、受容史を辿りながら、「通説」の問題点を探り、新たな解釈を考える。	講義	なし
人間科学科	79	城月 健太郎	ストレスと心理学	普通の生活で感じるストレスの仕組みについて、心理学の考え方で詳しく説明します。さらに、ストレスを解消するにはどのような方法があるかを解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	80	藤森 和美	子どものトラウマと心のケア	トラウマ(心的外傷)体験とはどのようなことか、トラウマが子どもの心と身体にどのような影響を与えるか、その後の心のケアはどうするか、周囲の大人はどのように支援するかを初心者のためにわかりやすく講義する。	講義+ワーク	プロジェクター、スクリーン、PC
	81	中島 聡美	犯罪被害者の心のケア	現代社会では、実際には多くの犯罪が起こっています。被害にあうことによる心の傷を理解し、周囲がどのようにかわれるのかについて考えていきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	82	小西 啓史	説得の心理学	相手の人にある働きかけをして、その人の態度や行動を変えさせることを「説得」といいます。日常生活のさまざまな場面で起こる説得を、社会心理学の視点から考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	83	辻 恵介	撲殺との親和性から引きこもりの精神病理を考える	日本で起きる殺人事件では包丁による刺殺が一般的ですが、引きこもりの青年が人を殺す場合、父母などの同居家族を鈍器で撲殺することが少なくありません。犯行の手口を通して、引きこもりの病理を検討していきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	84	浅野 敬子	公認心理師の職責とは？	心理職の国家資格である公認心理師は、「公認心理師としての職責の自覚」を持つことが求められている。公認心理師としての職責とは何かについて概説し、公認心理師の主な業務内容について解説する。	講義	プロジェクター、スクリーン
	85	坂入 竜治	精神保健福祉士とソーシャルワーク	人間のライフサイクルにおいて、メンタルヘルスの課題は様々な局面に現れ、他人事ではない。メンタルヘルスの課題を抱える人々の生活を支援する精神保健福祉士の仕事とソーシャルワークの視点(人と環境の相互作用)について解説する。	講義	プロジェクター、スクリーン
	86	北條 英勝	「現代は幸せな社会か」を考える	現代は幸せな社会だろうか。日本社会の状態を表す様々なデータを参照しながら、社会学の視点から考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	87	五島 直樹	ヒトとヒトの関わりあいを生命科学で考えてみよう！	ヒトから人間が形成されてゆく過程では、ヒトとヒトの関わり合いが大切です。ヒトの体の仕組みには、ヒトとヒトとがコミュニケーションをとる仕組みが備わっています。この仕組みを生命科学の立場から考えましょう。	講義	プロジェクター、スクリーン
	88	日野 慧運	唯識学入門	5世紀インドの仏教に生まれた、唯識という学問は、無意識のうちに人の行動を左右する深層心理について説明するものでした。アジアの伝統的な心の捉え方の一つである唯識について、簡単に解説します。	講義	なし
	89	矢澤 美香子	人生100年時代のキャリア・デザインを考える	近い将来、人生100年時代を迎えるといわれています。授業では、どのように働き、学び、楽しみ、生きるかを考えながら、キャリア・デザインの視点から自律的キャリア形成についての理解を深めます。	演習	プロジェクター、スクリーン、可動式の机と椅子のある教室
	90	泉 明宏	心と脳の不思議	ヒトは言語をはじめとして、他の動物には見られない高度な知的能力を持っています。ヒトの心と脳、そして複雑に発達した社会がどのように成立してきたのか、進化的適応の観点から解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	91	岩本 操	「精神保健福祉士」のしごと	「精神保健福祉士」は精神医療・精神保健分野におけるソーシャルワーカーの国家資格です。人々の心の健康増進に向けて人と社会の双方に働きかける精神保健福祉士の仕事の魅力を説明します。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	92	小嶋 知幸	言語聴覚士って知ってますか？	脳の病気の後遺症などで、ことばが不自由になった方々にリハビリテーションを行う専門職について解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	93	嶋田 真理子	言語聴覚士の仕事とは？	リハビリテーション専門職の一つで、国家資格である言語聴覚士は、ますます高齢化する社会において、活躍が求められている職種である。言語聴覚士の主な業務と対象者について解説する。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	94	畠山 恵	認知症とは？	高齢化社会が進むにつれ増加している認知症について、代表的な症状と、コミュニケーション上の対応の工夫について説明します。	講義	プロジェクター、スクリーン
看護学科	95	三次 真理	健康的な生活習慣づくりと看護の役割を知ろう	わが国の生活習慣病の動向ならびに健康的な生活習慣づくりのヒントを紹介し、看護が人々の健康づくりにどのように役立つ仕事であるかについて学びます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	96	橋本 結花	看護の世界へ、ようこそ！ ~看護職になる道を知ろう~	看護職には、保健師、助産師、看護師などがあります。それぞれの職種の仕事内容、どのような学校に進んだらこの資格がとれるのか、活躍している場所などをわかりやすく紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	97	石橋 タミ	高齢者への看護について	超高齢社会の現在、何らかの病気を抱えながら生活する高齢者が増えています。病気をもち高齢者の生活を支えるために必要な看護の視点について、若年者たちとの身体状況の違いや精神状況の変化など、映像を交えて紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC、DVDプレイヤー

学科	授業 ナンバー	担当教員	授業タイトル	授業内容	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
環境 システム学科	98	明石 修	SDGsでつくる持続可能な未来	これからの社会を考える際のキーワードであるSDGs(持続可能な開発目標)の基本的考え方を学び、それを達成するための様々な取り組みについて考えます。SDGsを体感的に学ぶカードゲーム(2030SDGs)も実施可能です。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン(カードゲーム実施の場合には、その他の設備も必要になります。ご相談ください。)
	99	明石 修	地球が壊れる前に。今、我々に必要な環境学	異常気象や海を覆うプラスチックごみ、地球に異変が起きています。これ以上地球を壊さないために我々に何ができるか。環境学の挑戦を紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	100	明石 修	パーマカルチャー入門 —食料、水、エネルギーを持続的に得るための環境システムデザイン—	自然生態系に負荷をかけず食料、水、エネルギーを持続的に得るための環境デザインであるパーマカルチャーについて紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	101	伊尾木 慶子	森林や緑地と人々の関わりを考える	森林と人間の関わりは時代とともに変化してきました。都市の緑地から熱帯林まで、様々な森林と人々の関係について述べ、生物多様性などの視点から今後どのように保全していくかについて議論します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	102	磯部 孝行	国際的な資源循環を考える	最近、中国が廃プラスチックの輸入が禁止され話題になりました。現在、日本の廃棄物は多くが海外に輸入されている状況であり、それらには有害物質などを含むものがあります。その現状について紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	103	一方井 誠治	私が考える環境問題の本質	戦後日本の激甚公害とその克服などの経験を経て、私たちは今また気候変動問題をはじめとする地球規模の環境問題に直面しています。環境問題はなぜ無くならないのか、その解決はなぜ難しいのかなどについて改めて考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	104	一方井 誠治	持続可能な発展と日独の気候変動政策	持続可能は発展という言葉は最近よく聞かれますが、具体的に考えるとこれは意外と難しい課題があります。現代の最大の環境問題である気候変動をめぐる日本とドイツの政策を例にこの問題を考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	105	門多 真理子	食品廃棄物のエネルギーリサイクル	都市で大量に発生する食品廃棄物は化学エネルギー多く持つ資源と捉えることができます。そのリサイクル品であるバイオガスは都市で需要があります。このリサイクルプロセスであるメタン発酵を紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	106	高橋 和枝	資源循環を日常生活から考える	健全な資源循環のために、われわれにできることを日常生活から考えます。電子機器に使用されているレアメタや大量消費・廃棄されているプラスチック等、できるだけ実物を見ながら考える授業をします。	講義	プロジェクター、スクリーン
	107	真名垣 聡	環境地球化学	大学で実際におこなっている講義の一端を専門性をもって紹介します。我々が日常的に使用している10万種類の物質は地球上でどのように分布、生態系に影響し得るのかを研究する学問です。	講義	プロジェクター、スクリーン
108	真名垣 聡	リスクのものさしで環境にやさしいを測る	主に「環境リスク」についてわかりやすく説明します。毒物として知られるダイオキシンと食事に使われる塩ってどっちが危険なの？ という問いをリスクから説明します。	講義	プロジェクター、スクリーン	
109	村松 陸雄	「心理学」×「環境学」で持続可能な未来をつくる	人間の心理やコミュニケーションを応用した人間行動デザインを用いた持続可能な未来のつくり方を考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン	
110	白鳥 和彦	「エコラベル」を知ろう	身近にある「エコラベル」はどのようなものか。どのように作られ、表示されているのか。それを使うことによりどのようにして環境に役立つのか等を学ぶとともに、環境問題の解決につなげようとする企業活動や環境学について紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン	
数理工学科	111	木下 修一	世の中のつながりを科学する	人間関係を表すSNSから、企業間のお金のやり取り、細胞内の代謝システムまで、ネットワークとして表現できる現象は多々あります。本講義では、簡単な実例と数学を使ってネットワーク科学の魅力を学びます。	講義	なし
	112	友枝 明保	渋滞学入門 —数学で渋滞を計算しよう—	渋滞の仕組みを計算できれば、渋滞を制御したり予測することができます。例えば、高速道路の渋滞を減らす運転方法とは？車の動きを表す「モデル」を作っていくことから始めて、渋滞を計算する方法を伝授します。	講義	なし
	113	友枝 明保	不可能立体の数理 —数学が創り出す錯視立体たち—	不可能立体とは「あり得ない姿や振る舞いが見えてくる錯覚を生じさせる立体」です。本講義では、様々な錯視現象を楽しんでもらうことから始めて、不可能立体を作る計算方法について解説します。	講義	なし
	114	松家 敬介	漸化式による数理モデル入門	様々な現象を数学の言葉で表したものを数理モデルと呼び、この数理モデルを調べることで現象の理解につながります。本講義では、漸化式による数理モデルの実例をいくつか紹介しながら数学の応用について学びます。	講義	なし
	115	渡辺 知規	自然現象をちょっと違った視点でながめてみよう	我々の身の回りには自然現象や社会現象などさまざまな現象がある。それらは無秩序なのだろうか？それともなんらかの秩序があるのだろうか？この問いを中心に非線形の数理について概観する。	講義	なし
	116	坪井 俊	対称性の数学	対称性をもつものは人目を引くような気がします。対称性をもつものを眺めると、しばしば三角定規の形が隠れていることがわかります。数学者はこのような対称性を扱うために「群」を考え出しました。多くの数学者が様々な群を研究しています。この流れを踏まえ、対称性を見つけていただところから、対称性というものの持つ法則性の発見へつながるところを紹介します。	講義	なし
	117	上山 大信	GPSの数理	日常生活において、なくてはならないGPS。スマホのマップアプリは毎日活用するアプリの一つですが、なぜ自分の位置が正確にわかるのか、不思議に思いませんか？その原理は簡単な数学で理解できます。	講義	なし
	118	薩摩 順吉	微積分の力	自然現象や社会現象を解析するのに、微積分がなぜ重要かをわかりやすく説明します。20年以上高校出前講義をやってきました。	講義	なし

学科	授業 ナンバー	担当教員	授業タイトル	授業内容	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
数理工学科	119	高石 武史	数理モデル入門	人口増加、噂の伝搬など、身近な話題を数理モデルで考えます。数列や微分の考え方を使い、いろいろな現象をどのように数式で解いていけるかを学びます。	講義	なし
	120	阿部 修治	カルノー機関	熱力学の発展に大きく貢献した19世紀フランスの技師サディ・カルノーの理論(カルノーの定理)の功績と意義について解説する。(『物理』履修者対象)	講義	なし
	121	西川 哲夫	データサイエンスによって、世の中の様々な問題を解決する	近年、実験技術、インターネット、計算機の進歩により、あらゆる分野で莫大な量のデータが生み出されています。このデータを活用して問題解決を図る「データサイエンス」のインパクトについて具体的に学びます。	講義	なし
建築 デザイン学科	122	水谷 俊博	建築をデザインすることを考える	建築のデザインに関して実例を挙げながら説明するとともに、大学でおこなう建築の設計に関する取り組みを紹介します。また、実際にグループワークにより簡単なデザイン(設計)を手を動かしながら体験してもらいます(実施は人数により検討)。	講義(+演習)	プロジェクター、スクリーン、普通紙(A3かA4人数分) 【生徒】鉛筆などの絵をかける筆記用具
	123	河津 優司	建築と歴史	歴史的な建造物には、ピラミッドなど興味深いものが多い。それらはどのような人が、どのような思いで、どのように造ったのだろうか?そんな興味の眼で建築をとらえてみると、現代がどのような目で建築を見ているのかがわかってくる。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	124	宮下 貴裕	自分たちの街の環境について考える	学生達が普段生活している街や空間がどのように成り立っているのかを一緒に考えます。環境に注目するアプローチを紹介するとともに、グループワークで地図に書き込みを行いながら、学生達に身の回りの環境の魅力や課題を見つけ出してもらいます。	演習	プロジェクター、スクリーン、学校周辺の地図(A3用紙1~2枚に印刷)
	125	金 政秀	環境と形	自然、伝統的民家、現代建築における環境に適応した機能とその形態について講義を行います。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	126	田中 正史	建築と技術	我々が生活する社会では、どのような技術が活用されているのか。建築物における工学原理の事例を紹介するとともに、安全について授業を行います。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	127	伊藤 泰彦	こどもと建築 -学びの場とまちづくり-	衣食住の3要素のうち、学校におけるこどもの住教育は取り組みが少ないと言われています。教員が直接関わる地域活動を題材に、こどもと地域の学びを紹介し、モノだけではなくコト・ヒトの建築的デザインについて考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	128	伊村 則子	まちを防災視点で観る	普段生活するまちを、防災の視点で観察し、どのようなまちの要素が災害時に役立つのか、危険要素になるのか、平时に改善できるのか、教員が関係する地域連携活動を題材に考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	129	風袋 宏幸	建築のエLEMENT	建築は壁、窓、屋根など多くのELEMENTが組み合わせられてきています。この授業では、特定のELEMENTに注目して観察することから、建築デザインの考え方を探ります。	講義	プロジェクター、スクリーン